

令和5年度 南丹市立殿田中学校 学校経営計画(スクールマネジメントプラン)

学校教育目標		学校の現状分析		学校経営方針(中期経営目標)	
<p>人権の尊重を基盤として、ふるさとを舞台に広い視野で考え、自ら学び、主体的に行動する、心豊かな人間の育成</p> <p><めざす生徒像></p> <p>○生命と人権を大切に、生き抜く力をもった生徒</p> <p>○いつまでもふるさと日吉を愛する生徒</p> <p>○グローバルな視野で考えることができる生徒</p> <p>○学ぶ意欲と学ぶ力を身につけた生徒</p> <p>○思いやりをもち仲間と協調して取り組める生徒</p>		<p>●生徒は大変落ち着きある状況であり、学級生活満足度も確実に向上している。一方で、さらに人権感覚を高める機会を意図的につくる必要もある。また、不登校生徒・別室生徒も多い。</p> <p>●英検や外部コンクール等に挑戦する生徒数の増加が見られるものの、生徒の主体的・対話的で深い学びを引き出す授業づくりと、家庭学習習慣の定着という面では依然課題がある。</p> <p>●地域道徳や生徒会活動の取組により、郷土愛・感謝に関して成果が見られる。一方で、「考え議論する道徳」の授業については課題が残る。</p> <p>●指示に対して真面目に取り組むが、将来に対する展望や、失敗を恐れず挑戦する姿勢と自己表現する姿勢に依然弱さが見られる。</p> <p>●地域道徳の取組や生徒会活動の活性化により、コミュニティ・スクールとして地域との連携・協働の取組が少しずつ進んでいる。</p>		<p>○人権感覚を高め安心して学べる環境づくりに努める</p> <p>★お互いを尊重し、主体的に話し合い、仲間とともに活動できる集団を育成する</p> <p>○主体的、対話的で深い学びを実現する授業づくりを推進する</p> <p>★教員の授業力向上や家庭学習習慣の確立により、生徒の学力向上を進める</p> <p>○道徳や特別活動を充実させ、豊かな人間性を育む</p> <p>★道徳や生徒会活動の活性化を進め、多様性を認め協調性のある人間関係を育む</p> <p>○将来を見据えたキャリア教育の充実を図る</p> <p>★様々な地域人材活用や体験活動の実施により、将来展望と自己管理能力を育成する</p> <p>○コミュニティ・スクールとして地域との連携・協働を充実させる</p> <p>★学校運営協議会とPTAとの連携・協働を一層深め、熟議内容の実現に向け取組を進める</p>	
学校経営の重点(短期経営目標)		成果	評価	課題	改善策等
人権教育	<p>◆全教育活動の基盤となる人権意識の高揚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめの完全否定を100%の生徒が回答する ・学校は楽しいと回答する生徒を80%以上にする ・生徒の学級生活満足度を70%以上にする ・人権学習を、各学期に計画的・系統的に実施する 				
学力向上	<p>◆学びに向かう力と学び方を育てる授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習30分未満の生徒を10%以下にする ・年2回の公開授業週間での相互参観を重視する ・主体的、対話的で深い学びのある授業の実践を進める ・ねらいに迫るICT利活用による、分かる授業を進める 				
道徳・特別活動	<p>◆道徳・生徒会活動の活性化による豊かな人間性の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・殿中行動宣言の具現化に向けた取組を年3回以上実施 ・自分に良いところがあるとの割合を70%以上にする ・生徒指導3機能を下に、自己指導能力向上に努める ・考え議論する道徳の実践と授業改善を進める。 				
キャリア	<p>◆将来を見据えたキャリア教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や目標がある生徒を80%以上にする ・失敗を恐れず挑戦する生徒を70%以上にする ・地域人材・体験活動による様々な価値観の投げかけ ・スケジュール手帳の効果的活用に向けて働きかける 				
地域連携	<p>◆コミュニティ・スクールとしての地域との連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会(5回以上)と熟議を開催する ・各学年、地域住民を交えた親子道徳を1回行う ・学校運営協議会とPTAが共に活動する機会をつくる ・地域貢献の取組実施により、生徒の成功体験に繋げる 				

◎各目標数値は、アンケートで肯定的回答(「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」)が得られる数値合計の割合としています。